スクールカウンセラーだより

令和５年１２月１日
№８

練馬区立関町北小学校スクールカウンセラー　曽我部　和広

特別な支援が必要な子供

昨年 12 月に文部科学省が「通常の学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」を発表しました。その調査によると、小中学校の通常学級に在籍する子供のうち、8.8%が「学習面又は行動面で著しい困難を示す」ということが明らかになりました。小学校では、10.4%です。一生懸命勉強しているのに、学習内容がなかなか理解できなかったり、定着したりできずに困っている子供たちが主に該当します。中には学習障害の診断がつく子供もいます。

○**学習障害**（LD）(Learning Disabilities）の文部科学省の定義

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すものとされています。

学習障害は、その原因として中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害等の障害や、環境的な要因が直接的な原因となるものではないと定義されています。医学では、**限局性学習障害/限局性学習症**（SLD）(Specific Learning Disorders）と呼ばれています。

☆よく見られる特徴

・文字や行を飛ばし読みしてしまう　・教科書を読む時に、単語を言い換えて読んでしまう
・文字がぼやけたり、動いたり、さかさまになって見えたりすることがある
・1 文字ずつや単語は読めても、文章になると理解できないことがある
・文字は読めるのに、書けない　・文字を書く時に、とても時間がかかる
・文字を読むことが困難で練習をしても改善しない（初見でスムーズに読めない）
・丁寧に文字の指導をしても、なかなかひらがな、カタカナが覚えられない
・文字をきれいに揃えて書くことができない　・誤字脱字や書き順の間違いが多い
・一生懸命漢字練習をするが、テストで書くことができない
・小さな「っ、ゃ、ゅ、ょ」、「は、へ、を」などの使い方が身に付かず、書き間違うことが多い
・人の話をよく聞き間違える　・耳で聞いた言葉を文字にするのが苦手である
・話しているうちに話が逸れてしまう　・筋道を立てて話すのが苦手である
・指を使わないと計算できない　・数字の大小や数字の記号が理解しにくい
・時計で時間を把握するのが苦手である　・家庭学習にはまじめに取り組むが、時間がかかる

これらの様子が見られる時は、無理やり取り組ませたり叱ったりしても改善せず、ますます取り組まなくなります。お子様の特性や状態に合わせた適切な支援をしてあげると、改善が期待できます。

詳しくお知りになりたい方は、スクールカウンセラーにご相談ください。

教育相談の申し込み方法

直接またはお電話で、副校長・担任・養護教諭・スクールカウンセラーにお申し込み下さい。

関町北小学校　電話：０３－３９２０－１０２７

相談枠：①9:35　②10:40　③11:30　④13:40　⑤14:30　⑥15:30　⑦16:30

1 回 45 分が基本です。枠外は、ご相談ください。　勤務時間：9:30～18：00

１２月・１月の出勤予定日

１２月　１日(金)，　８日(金)，１５日(金)，２２日(金)
１月１２日(金)，１５日(月)，２６日(金)